

175

135
4
445

(一)

今から大抵三十年程前に或人がアンチエノ山
 院を見廻つて居りました一日旅の疲れて咽が乾
 水を飲ふと思つて一軒の百姓家に入りまじた水筒から飲んで
 内向ふの庭に蓋被巾に巻たる物があるを見まじた近村
 よく見ますれば四人の兵卒の死骸を御坐りまじた其直き傍
 に甚く手負ふて半死半生の有様にて臥て居る多くの人が御坐
 りまじた此見廻る人は彼等に何や角と世話して遣つて後又傍
 の半部屋に入居らじか様子を見まじた其中へ入りますと
 四人の者が臥て居りまじた最初に出達た人の破裂服で腹を穿
 かれた居りまじた故其様子を流して進みまじると
 其時其者の事を話して聞かせまじた其次に對して話
 せられたに其人の顔の痛子を取つて居りまじると



020289-000-0

特16-424

王侯よりも幸福なり

楠瀬 貫一/訳

M22

ABI-0095



173

135
4
445

(一)

王侯よりも幸福なり

今から大抵三十年程前に或人がアンチエタムと

病院を見廻つて居りました。一日旅の疲れで咽が乾

水を飲ふと思つて一軒の百姓家に入りました水管から飲んで

居る内向ふの庭に襪襦巾に巻たる物があるを見ました近付き

よく見ますれば四人の兵卒の死骸で御坐りました其直き傍

に甚く手負ふて半死半生の有様にて臥て居る多くの人が御坐

りました此見廻る人は彼等に何や角と世話して遣つて後又傍

の牛部屋に人の居るらしお様子を見ました其中へ入りませ

四人の者が臥て居りました最初に出逢た人の破裂弾で腕を碎

かれて居りました故其傷を洗ふて遣りイエスキリストの喜を

しき福音の事を話して聞せました其次の人に對いて話し掛け

ましたに其人の顔の帽子を被つて居りましたか其傍の兵卒が



(二)

其者の死んで居ると云ひました帽子を取上げて見ますと成る程早や絆切れて居りました。さて其傍に又年比二十三歳計りの若者が臥て居りました其足の破裂で砕かれ而して戦場で手荒く療治されたものから數日の間餘程嚴敷痛みました其縛つてある所を少し弛めましたれば傷が裂け出て實に目も當てられぬ有様でした如何にも不憫に思ひ少しは其傷を輕めたいと思ひ最と心地よく臥直させ其中あなたはまことに御氣の毒で御坐りますと申したれを其若者は頬に笑を含み見上げて汝の御覽なされる程に痛くは御坐りませぬと答へました其人の推し返してなぜあなたは痛く御坐りませぬかと尋ねましたればまた見上げて私の心の王侯となつたよりも幸福で御坐りますと答へました其人又何があなたを左様に幸福に致しましたかと尋ねましたら若者はイエス、

(三)

キリストは私を御愛しなされまして其御苦みの中々私の此苦み位で御坐りませなんだそしてイエスは今此場にて私と共に御出なさりますと答へました聞きますれば此若者は兵卒と云つて出陣した頃からイエスを信じて居りまして色々危難困苦の間始終イエスの御護りと御慰めをいたさき今又此大なる苦にも勝つとが出来た譯で御坐ります此處を見舞た人へまことに神様の御恵みの深きことを感じ同行の人と跪ひて神様に御禮を申し上げました。すべて此世の財や身代にをかり氣を留め悪魔の奴隷となりますならどれほど富有になつても安心の出来るものでは御坐りませぬ之に引き代へ眞を愛し義しきを慕ふ神の子となりますれば其身からすべての物を奪ひ取ることも其心の中のイエスをば取り除るゝ出来ませぬすべて身軀に屬る物を取れを取る

(四)

ほどイエスは其量り知られぬ御愛心の財を御與へなされいっ
 も心の中に御宿りなされます今此若者は其心に永遠なき生命
 の勢ひあるがために身体からだの苦を忘れ心淋こころさびしき事もなく死しる事
 も何とも思ひませなんだ此永遠とこよみき生命いのちハ常つねからよく心に味あじつ
 て居つたもので神から賜たまはつた恩めぐみで御坐ります決けつして自分おのれの力
 で得る事は出来ませぬ聖書の中に「人の子ひとこイエス」を信ずる者は
 永遠とこよみき生命いのちを有つと書いてありますこれは「未來あしたで有つであら
 う」有つ事が出来る」と云うことでは御坐りませぬイエスを信じ
 た者の「現在いま確たしかに此世このよから此榮光このさかの賜たまを有つに相違ちがないと云ふ
 事ことで御坐ります此生命このいのちを有つ者は限りなくイエスと共に居つ
 てイエスを喜ぶ譯わけで御坐ります。
 今達者いまたちを内にイエスに頼たよるとは無用むようだ何れ死側しにがはになつたら
 天國てんこくへ行くために信仰しんこうしようといふ人が往々あるとで御坐り

(五)

ますが之これハ大なる誤りあやまりで御坐ります成る程ほど聖書せいしょの中に見へま
 す通り一人の悪き強盗かうとうは十字架じゆうじかかぶ掛けられ死側しにがはになりてイエ
 スを信仰しんこうして救はれた事も御坐りますすけれど神様かみさまは決して時
 を決きめて御救ごきうひなさるゝ譯わけは御坐りませぬ平生へいぜい身体からだが達者たちやな
 間まイエスの色々の證據しやうこを拒んだ者を死側しにがはに救ふとの御定ごたまは御
 座りませぬ。
 最早もともと死しんとする人に神の道みちを話はなしますするに大抵たいていはかく申しま
 す「私は斯様かたがたに疲つかれて居ります何んとかして降くだされ或は「私は今
 りれ處ところでは御座りませぬ」と中には病中びやうちゆう非常ひじょうの苦くるしみさに一時いちじは信
 仰かうやうの心起こころおこりしも圖はからず病氣びやうきが全快ぜんがいすると其信仰そのしんこうは何處どこへやら
 消へ失せ前まへより一層いっしやう悪わるき事ことをする者が御座ります。
 善物ぜんぶつにはいづれ贖物あがなひものがあるもので惡魔あくまは常に人を欺あそむ地獄ぢごくの
 道みちへ誘よそひ色々と惑まどはせます今教いまおぼを調しらべずとも暫時しばらくして調しらべれ

ば宜い」と云はせませす諸君よく御注意なされ悪魔の奴隷となる
 なら靈魂の事を考ふる時が御座りません聖書に「今夜汝の靈魂
 取る事あるべし」と書いてあります又よし斯様な心を持って信
 仰しても病が直ればすぐ元の通り不信者となりませす。
 人間の救はるゝのは唯イエスを信仰する事で御座りませすイエ
 スを置ては外に神様の許へ行く道は御座りません誰でも一度
 イエスを信じた者は永遠き生命を持って居ります此信仰さへあ
 れば靈魂に恐れは御座りませぬ聖書に「光世に來りしに人其心
 の暗きによりて之を受す又彼を信ぜざる者は已に其罪定めり」
 と書いてあります神の罰を受るは罪を犯したばかりでなくイ
 エスの確なる證據を嫌ひ棄るからでも御座ります。
 ある一人の常に神の道を傳ふる事に熱心なりし善信者が一日
 ワシントン府と申す處へ參る途中車を乗り替る際車より落ち

其時折悪敷外の車が走せ來り其人を乗り越しましたが憐むべ
 し其人は足を挽き切られより直ぐ病院へ送られ色々手厚
 く療治しましたけれど間もなく死しました。
 さて其人が死る前療治を受る時に一人の外科醫者が其傍に付
 て居た人に「此人は死るに違ひ御座りませぬ何か言ふ事は御座
 りませぬか」と問ひましたれば其人答へて「此人は常から主イエ
 ス、キリストを信ずる人で神の子であり、永遠き生命を有者であ
 りますりれ故今死側になつて別に神の道を説き聞せる事も無
 用で御座りませす」と申しました最早呼吸を引き取らんとする時
 其傷きたる人は徐かに見上げて「私は神の子イエス、キリストを
 信仰します私に靈魂をイエスに渡します」と申して目を閉ぢま
 した。
 諸君神の子イエス、キリストをお信じなさりますか、永遠き生命

の望を有て居られたる方々には、御考へなされ

明治廿二年五月廿七日出版
明治廿二年五月廿五日印刷

編譯者
兼發行者

印刷者

楠 瀬 貫 一

大坂北區天滿橋二丁目四番
屋敷大野直周方客留高知縣
平民

廣 瀬 安 七

東京日本橋區兜町一番地製
紙分社